

トリアージ 地震に備え

笠松町 松波総合病院が訓練



トリアージの訓練に取り組むスタッフら
＝笠松町田代、松波総合病院

笠松町田代の松波総合病院は、同病院で災害対策訓練を実施し、医師、看護師らスタッフ300人が大規模地震を想定したトリアージの手順を確認した。

南海トラフ沿いを震源とする震度6強の地震が発生、大量のけが人を受け入れる、という想定で実施した。昨年、一昨年のコロナ禍では座学で行っており、

実際の訓練は3年ぶり。軽傷を受け入れる黄、比較的安全している緑、重傷者を受け入れる赤のエリアをそれぞれ設け、けが人を運び込んだ。医師、看護師らスタッフはけがの状況を確認し、対策本部に情報を

集約していた。

同病院は2011年に県の地域災害拠点病院に指定されて以降、毎年訓練を行ってきた。救急担当の八十川雄図医師は「久しぶりの実際の訓練で戸惑いもあったが、指揮系統、手順の確認ができたのは成果」と評価した。

訓練は、笠松、岐南町、羽島市、羽島郡広域消防本部、羽島市民病院も協力した。
(三輪真大)